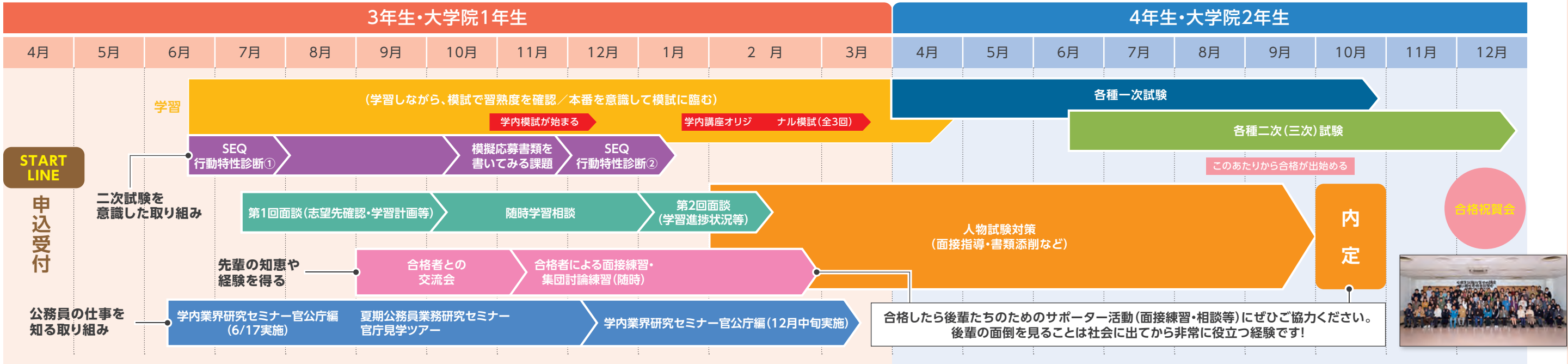


学習方法のポイント・合格までのスケジュール

学内講座の講義は、いつでもどこでも学習できる「オンライン配信」で行います。
また随時実施しているガイダンスや対面で実施するものもあります。

受講から合格・内定までの流れ(イメージ)



行政コース

- 主要5科目(憲法、民法、経済原論、行政法、数的処理)が最重要。特に数的処理は「繰り返し」が大事。
- 志望先に応じて労働法などのオプション講座で補習。
- 問題集や過去問を使った問題演習。
- 理系学部の方は文系科目に苦手意識を持たない。
- 予習不要。とにかく復習して学んだことを定着させる。

技術コース

- 教養科目と工学の基礎(数学・物理)以外は、自分の専門分野に応じて自習が必要。
- 志望先に応じて、どの専門分野の自習が必要かを把握。
- 専門分野は大学の学部で学んでいる専攻に取り組む。
- 問題集や過去問を使った問題演習が非常に重要。
- 「数的処理」含め繰り返し復習し学んだことを定着させる。

教養コース

- 教養科目以外は、自分の専門分野に応じて自習が必要。
- 志望先に応じて、どの専門分野の自習が必要かを把握。
- 専門分野は大学の学部で学んでいる専攻に取り組む。
- 特に技術系職種は問題集や過去問を使った問題演習が重要。
- 教養科目の数的処理は「繰り返し」が大事。

土木コース

- 教養科目(特に数的処理)と工学の基礎(数学・物理)は確実にできるようにする。
- 問題集や過去問を使った問題演習が非常に重要。

心理コース

- 大学の学部で学んでいる専攻で使っている教科書類もオリジナルテキストの他に活かせる場合がある。
- 問題集や過去問を使った問題演習が重要。
- 教養科目の数的処理は「繰り返し」が大事。

全てに共通

- 二次試験対策**
- 公務員であろうが民間であろうが面接重視の傾向にある。
 - 自分の意見・考えを自分の言葉で端的に表現できるように。
 - これまでの経験と、これから何をしたいのかを表現できるように意識する。その際に「自己分析」が重要。
 - 面接試験は繰り返し練習することで上達していく。

「学内講座ならではの」取り組み

公務員の仕事をを知る取り組み

官庁見学ツアー
(2022年は、新潟市役所・新潟労働局・新潟地方裁判所で実施)
学内講座受講生限定のイベントです。
新潟市内にある官庁を訪問し、職場見学・業務内容説明や職員との懇談を行いました。志望職種や自分を見つめ直す絶好の機会になります。

官庁見学ツアーに参加した学生の声

実際に市役所を訪れて、その場の雰囲気を感じ取れるというのがとても良かったです。あまり訪れる機会がない場所なので、見学ツアーという形で職場を実際に見て、職員さんとお話できるという機会を得られてこれからの就職活動に活かせる良い経験となりました。

今回のツアーに参加させていただき、ありがとうございました。私は裁判所に対して専門性が高く、お堅いイメージを持っていましたが、今回の説明や見学を通してアットホームな雰囲気を感じました。特に、職員の方が気さくに座談会での質問に答えてくださったり、ツアー後に接してくださったことが印象深かったです。また、研修制度が充実しており、OJT制度によって様々な業務を経験できることに魅力を感じました。今後さらに公務員の勉強に励もうという気持ちが強くなりました。

先輩の知恵や経験を得る

先輩サポーターによる相談やアドバイス

「先輩から後輩へ」という流れが、学内講座の特徴の一つでもあります。最終合格した先輩が皆さんのサポーターとなり、幅広く相談に乗ったり、二次試験で課される面接や集団討論の練習会を開催したり、先輩の体験談やアドバイスをまとめた「合格体験記」・「サポーター通信」などを発行しています(年により活動内容は異なります)。



面接練習で先輩が身だしなみのポイントを示したポスター

二次試験を意識した取り組み

SEQ行動特性診断

自身の行動特性を数値化した学生向けの「行動特性検査」です。1回目の受診では自身の強みや課題を明確にし、課題解決に向けた行動計画を立て実行していただきます。2回目受診では自身の行動特性がどのように変わったかを把握していただきます。その結果を人物試験対策に活かしていただきます。

